

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公開番号】特開2008-99031(P2008-99031A)

【公開日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2006-279186(P2006-279186)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

H 0 4 M 1/725 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/00 K

H 0 4 B 7/26 1 0 9 L

H 0 4 M 1/725

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月2日(2008.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

振動検出部と振動発生部とを少なくとも備えた携帯端末であって、  
前記携帯端末は、  
前記振動検出部で検出した振動の情報を記録する振動記録部と、  
前記振動記録部で記録した振動の情報に基づいて、前記携帯端末の所持者の振動間隔を算出する振動間隔算出部と、  
前記算出した振動間隔に基づいて、前記携帯端末において着信を検出した場合の振動発生時間と振動停止時間と算出することにより振動発生パターンを決定する振動処理算出部と、  
前記携帯端末における着信を検出した場合に、予め定められた時間内において、前記決定した振動発生パターンで振動を発生させる制御指示を前記振動発生部に送出する振動制御部と、  
を有することを特徴とする携帯端末。

【請求項 2】

振動検出部と振動発生部とを少なくとも備えた携帯端末であって、  
前記携帯端末は、  
前記振動検出部で検出した振動の情報を記録する振動記録部と、  
前記振動記録部で記録した振動の情報に基づいて、前記携帯端末の所持者の振動間隔を算出する振動間隔算出部と、  
前記算出した振動間隔に基づいて、前記携帯端末において着信を検出した場合の振動発生時間と振動停止時間と算出する振動処理算出部と、  
前記携帯端末における着信を検出した場合に、前記着信の検出後、予め定められた時間内において、振動を検出した時点を基点として、前記算出した振動発生時間と振動停止時間とを一サイクルとする振動の発生の制御指示を前記振動発生部に送出する振動制御部と、  
を有することを特徴とする携帯端末。

## 【請求項 3】

前記振動処理算出部は、  
前記予め定められた時間内において、一サイクルが終了後、振動を検出した時点を基点として、前記算出した振動発生時間と振動停止時間とによる、新たな一サイクルの振動の発生の制御指示を送出する、  
ことを特徴とする請求項 2 に記載の携帯端末。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 2 1 】

請求項2の発明は、振動検出部と振動発生部とを少なくとも備えた携帯端末であって、前記携帯端末は、前記振動検出部で検出した振動の情報を記録する振動記録部と、前記振動記録部で記録した振動の情報に基づいて、前記携帯端末の所持者の振動間隔を算出する振動間隔算出部と、前記算出した振動間隔に基づいて、前記携帯端末において着信を検出した場合の振動発生時間と振動停止時間とを算出する振動処理算出部と、前記携帯端末における着信を検出した場合に、前記着信の検出後、予め定められた時間内において、振動を検出した時点を基点として、前記算出した振動発生時間と振動停止時間とを一サイクルとする振動の発生の制御指示を前記振動発生部に送出する振動制御部と、を有する携帯端末である。

## 【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

## 【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

## 【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 2 5 】

請求項3の発明において、前記振動処理算出部は、前記予め定められた時間内において、一サイクルが終了後、振動を検出した時点を基点として、前記算出した振動発生時間と振動停止時間とによる、新たな一サイクルの振動の発生の制御指示を送出する、携帯端末である。

## 【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

## 【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

## 【補正の内容】